

代表大学等：●●大学

取組名：●●●●●●●●

事業推進責任者：●●●●● (●●大学 ●●●●●●研究科/教授)

取組の進捗状況（記入要領）

- ・以下の項番1～6の各項目、全体的な進捗状況について、進捗状況・対象時期（令和4年3月31日まで）の成果を記入。
- ・内容については、根拠となるデータ等を示し、具体的・客観的に記入。
- ・申請時、交付内定時、交付決定時に提出した申請書や補助金調書等の書類の内容に対応して記入。
- ・文字はMSゴシック、12ポイントとし、適宜、図・表等の挿入も可。
 - 申請書内容と対比させて具体的に分かりやすく記入してください。
 - 原則として令和4年3月31日までの取組状況について記入してください。
 - 対象時期の取組の成果が令和4年3月31日以降に表れた場合で、積極的に示したい実績を記入する場合は、その旨が分かるよう記入してください。
 - 計画以上の特筆すべき成果と考える記載については下線を引いてください。

1 体系的かつ効果的な教育研修プログラムの開発

実社会に則した課題発見・解決型の学習や、最先端理論等に関する学習等を組み合わせた教育プログラムと、その実施に必要な質の高い研修プログラムが実施されているか。

1については、印刷時A4×3ページ以内（目安）で記入

当初の構想・計画
進捗状況・対象時期（令和元年度～令和3年度）の成果

○対象時期に、どのような研修プログラムが開発され、どのような効果を挙げたのか、当初の構想・計画とそれに対する進捗・成果を具体的に記入してください。また、定量的に示せる成果があれば、可能な限り記入してください。

○コロナ禍における環境等により計画どおり実施できなかった取組がある場合には、その事由及びどのような代替の取組を工夫・実施したのかについて記入してください。

2 連携体制の構築

産学が共同して人材育成を推進するコンソーシアムが効果的に機能するよう、代表校を中心として連携校や企業等との定期的な対話の場を設けるなど連携体制や事業の運営体制・マネジメント体制が構築されているか。

2については、印刷時A4×3ページ以内（目安）で記入

当初の構想・計画

進捗状況・対象時期（令和元年度～令和3年度）の成果

○対象時期に、どのような連携体制や事業の運営体制・マネジメント体制を構築したのか、当初の構想・計画とそれに対する進捗・成果を具体的に記入してください。また、定量的に示せる成果があれば、可能な限り記入してください。

○コロナ禍における環境等により計画どおり実施できなかった取組がある場合には、その事由及びどのような代替の取組を工夫・実施したのかについて記入してください。

3 社会のニーズに応える工夫

社会の要請に応えることが可能となる工夫がなされているか。また、働きながら研修プログラムを受講することができるよう工夫がなされているか。

3については、印刷時A4×3ページ以内（目安）で記入

当初の構想・計画

進捗状況・対象時期（令和元年度～令和3年度）の成果

○対象時期に、社会のニーズに応えるためのどのような工夫がなされたのか、また、その結果どのような成果（例えば、企業側の調査や意見等）があったか、当初の構想・計画とそれに対する進捗・成果を具体的に記入してください。また、定量的に示せる成果があれば、可能な限り記入してください。

○コロナ禍における環境等により計画どおり実施できなかった取組がある場合には、その事由及びどのような代替の取組を工夫・実施したのかについて記入してください。

4 自己評価・外部評価体制の構築

研修プログラムの受講者やその修了者による授業を受けた学生のアンケートの活用等による自己評価の体制が構築されているか。また、連携校以外の大学等や産業界等の有識者などの第三者による外部評価を行う体制が構築されているか。自己評価と外部評価の結果を反映して改善を行う具体的な仕組みが構築されているか。

4については、印刷時A4×2ページ以内（目安）で記入

当初の構想・計画
進捗状況・対象時期（令和元年度～令和3年度）の成果
<p>○対象時期に、どのような自己評価・外部評価体制を構築したのか、当初の構想・計画とそれに対する進捗が分かるよう具体的に記入してください。また、自己評価・外部評価の結果を踏まえて改善策を実施した実績や、<u>定量的に示せる成果があれば、可能な限り記入</u>してください。</p> <p>○コロナ禍における環境等により計画どおり実施できなかった取組がある場合には、その事由及びどのような代替の取組を工夫・実施したのかについて記入してください。</p>

5 補助期間終了後の取組

補助期間終了後も発展的かつ継続的な活動を行う計画の実現に向けて、予定どおり実施しているか。

5については、印刷時A4×2ページ以内（目安）で記入

当初の構想・計画

進捗状況・対象時期（令和元年度～令和3年度）の成果

- 対象時期に、補助期間終了後の取組の実施に向けた準備がどのようになされているか、当初の構想・計画とそれに対する進捗が分かるよう具体的に記入してください。また、定量的に示せる成果があれば、可能な限り記入してください。
- コロナ禍における環境等により計画どおり実施できなかった取組がある場合には、その事由及びどのような代替の取組を工夫・実施したのかについて記入してください。

6 運営拠点の取組 ※運営拠点として実施する大学等のみ

運営拠点として、各中核拠点との連携・取りまとめを適切に実施しているか。

6については、印刷時A4×3ページ以内(目安)で記入

当初の構想・計画
進捗状況・対象時期(令和元年度～令和3年度)の成果
<p>○対象時期における「人材エージェント」の仕組みの構築の実施状況について、当初の構想・計画とそれに対する進捗が分かるよう具体的に記入してください。また、<u>定量的に示せる成果があれば、可能な限り記入</u>してください。</p> <p>○コロナ禍における環境等により計画どおり実施できなかった取組がある場合には、その事由及びどのような代替の取組を工夫・実施したのかについて記入してください。</p>

全体的な進捗状況

全体的な進捗状況については、印刷時A4×3ページ以内（目安）で記入

当初の構想・計画

進捗状況・対象時期（令和元年度～令和3年度）の成果

- 取組全体を通しての実施状況について、当初の構想・計画とそれに対する進捗が分かるよう具体的に記入してください。また、定量的に示せる成果があれば、可能な限り記入してください。
- 実施校の自己評価として、全体の実施状況を踏まえ、どのような課題があるか分かるよう具体的に記入してください。
- コロナ禍における環境等により計画どおり実施できなかった取組がある場合には、その事由及びどのような代替の取組を工夫・実施したのかについて記入してください。
- 選定時に委員会から大学等にコメントとして通知された改善点について、事項毎に対応状況が分かるよう記入してください。

選定時に通知された改善点への対応状況